

ニガウリ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	べと病	炭疽病	斑点病	つる枯病	うどんこ病
Zボルドー水	M1		-	-					◎
トップジンM水	1		1	5		◎	◎		
アフエットFL	7		1	3					◎
パレード20FL	7		1	3					◎
アミスター20FL	11		7	3	◎	◎			◎
ストロビーFL	11		7	3	◎				◎
トリフミン水	3		1	3					◎
サンヨール乳	M1		1	4					◎
ダコニール1000FL	M5		1	4	◎	◎	◎	◎	◎
ベルクートFL	M7		1	3					◎
モレスタン水	M10		1	4					◎
スミブレンド水	10・2		7	2			◎		
ベジセイバーFL	7・M5		1	3					◎
アミスターオープンFL	11・M5		7	3					◎
パンチョTF顆水	3・U6		1	2					◎

ニガウリ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	使用条件	アブラムシ	コナジラミ	カメムシ	タバコカスミカメ	アザミウマ	マメハモグリバエ	タネバエ	ウリノメイガ	フキノメイガ	ヨトウムシ	オオタバコガ	ネキリムシ	コガネムシ	ハダニ	ネコブセンチュウ	
バイデートL粒	1A	劇	*d	1																	◎
ガードホープ液	1B	劇	*e	1																	◎
ダイアジノン粒5	1B		*c	2								◎					◎	◎			
ネマキック粒	1B		*d	1																	◎
ネマトリンエース粒	1B		*b	1																	◎
マラソン乳	1B		1	3		◎															
アディオン乳	3A		1	3		◎		◎	◎					◎	◎						
トレボン乳	3A		1	3		◎	◎	◎	◎				◎		◎						
アクタラ顆溶	4A		7	3		ワ															
アドマイヤー顆水	4A	劇	1	2	施					◎											
アドマイヤー1粒	4A		*a	1		◎															
アルバリン顆溶 スタークル顆溶	4A		1	2			◎														
アルバリン粒 スタークル粒	4A		*a	1			◎														
ダントツ溶	4A		1	3		◎				ミ											
モスピラン顆溶	4A	劇	1	3		◎															
アフーム乳	6		3	2												◎					
コルト顆水	9B		1	3		◎															
チェス顆水	9B		*f	3		◎															
ニッソラン水	10A		1	2																	◎
コテツFL	13	劇	1	2						ミ											
カスケード乳	15		1	4						◎	◎		◎								
サンマイトFL	21A	劇	1	2			◎														
ダニトロンFL	21A		3	1																	◎
ハチハチ乳	21A	劇	1	2						◎											
フェニックス顆水	28		1	3									◎		ハ						
プレバソンFL5	28		1	3											ハ						
ウララD F	29		1	2		◎															
プレオFL	UN		1	2											ハ						
サンヨール乳	-		1	4		◎															◎

*a:定植時 *b:播種前又は定植前 *c:播種時又は定植時 *d:定植前

*e:生育期(但し収穫14日前まで) *f:収穫開始3日前まで

施:施設栽培

ハ:ハスモンヨトウ ミ:ミナミキイロアザミウマ ワ:ワタアブラムシ

ニガウリ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル● 2000倍 ストロビーフロアブル● 3000倍 ダコニール1000(FL) 1000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
うどんこ病	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 ストロビーフロアブル● 3000倍 ダコニール1000(FL) 1000倍 パンチョTF顆粒水和剤● 2000倍 モレスタン水和剤 2000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
炭疽病	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル 2000倍 ダコニール1000(FL) 1000倍	
モザイク病		・アブラムシ類を防除する。	
アブラムシ類	定植時	・次の薬剤を植穴または株元に土壌混和する。 アドマイヤー1粒剤 1~2g/株	
	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオン乳剤 2000~3000倍 トレボン乳剤 1000倍 モスピラン顆粒水溶剤 4000倍	
タバコカスミカメ	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 アディオン乳剤 2000~3000倍	
アザミウマ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 カスケード乳剤 2000~4000倍 ハチハチ乳剤△ 1000倍	△薬害を生じるおそれがあるので、幼苗期には使用しない。
ミナミキイロアザミウマ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 コテツフロアブル 2000倍	
ウリノメイガ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 カスケード乳剤 2000~4000倍 トレボン乳剤 1000倍	
ネキリムシ類	播種時または定植時	・次の薬剤を施用し、土壌混和する。 ダイアジノン粒剤5 6kg/10a	
ハダニ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ダニトロンフロアブル 2000倍 ニッソラン水和剤 2000~3000倍	
ネコブセンチュウ	播種前または定植前	・次の薬剤を全面に施用し、土壌混和する。 ネマトリンエース粒剤 15~20kg/10a	